

地域コミュニティ活性化推進計画の改定に係る部会設置（案）について

1 部会案について

	第1テーマ	第2テーマ
内容	<p>だれもが自治会・町内会に参加しやすくなる方策</p> <p>⇒ 集合住宅における更なる加入増の取組や、運営における負担の軽減、担い手づくり、加入者の満足度向上に向けた取組等について、現場の立場から議論を行う。</p>	<p>いつまでも参加し続けられる地域コミュニティの在り方</p> <p>⇒ 人口減少・少子高齢化など将来的に想定される課題を念頭に、住民同士がつながり、支え合う持続可能な地域コミュニティの形について議論を行う。</p>
これまでの取組から見えてきた課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションの住人とのコミュニティ形成に関して、「全く関わりがない」との回答が減少してきているものの、依然として多い。【自治会・町内会アンケート】 ・高齢化が進んで自治会が衰退している中で、誰が中心となって活性化していくのかを考えていかなければならない。【審議会】 ・自治会・町内会の運営における課題について、「高齢者が多く、活動に参加できる人が少ない」という回答が最も多かった。【自治会・町内会アンケート】 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動に参加するにあたって必要だと感じるものは「時間的に参加可能な内容であること」、「精神的・体力的にも負担が少ないこと」（2割近く）の順に多く回答【市政総合アンケート】 ・各組織間の連携が不足している。【地域力アップ学区活動連携支援事業】 ・防災面で町内会未加入者への対応に困る【地域力アップ学区活動連携支援事業】
社会経済情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・相次ぐ自然災害の発生を教訓にした、各地域における防災意識の広がり ・一人暮らし世帯の増加など、社会的に孤立しやすい単身世帯が更に増加 ・福祉、教育、環境、安心安全等の取組を融合した持続可能なまちづくり（SDGs）の機運の高まり ・入国管理及び難民認定法の改正により外国籍市民が増える見込み 	
検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会の加入促進と退会防止の取組の共有手法 ・定年退職者の生きがいの充実、社会参加の推進を図ることにより、活力ある地域社会を実現 ・自治会・町内会アンケートを活かした地域課題等の実態把握、地域へのフィードバックの仕組みの検討 ・地域と集合住宅のつながりに向けた方策 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会、若い子育て世代で構成されるPTA等の各種団体、NPO法人等の市民活動団体及び事業者間における更なる連携を図る方策 ・防災や福祉の観点から持続可能な地域コミュニティの在り方を検討
メンバー ※五十音順	6名（石本委員，角谷委員，田川委員，谷口委員，森委員，山本委員（★））	7名（内田委員，大澤委員，太田委員，川口委員，中野委員，平田委員（★），藤原委員）

立木会長及び越山副会長には全体の統括的役割で参加いただく。

2 進め方について



参考：平成27年度の進め方

- ・ 3つのテーマを設け、それぞれ2回の意見交換会を実施
- ・ 1回目はフリートーク、2回目は1回目の内容を踏まえて具体的な事柄について、フリートークを実施